

研究課題名	ぶどう膜炎続発緑内障に対するチューブシャント手術の治療成績
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間 泰一郎
研究期間	許可日 ~ 2023年 12月 31日
対象者	2019年1月から2024年12月の間に、広島大学病院眼科でぶどう膜炎続発緑内障に対してチューブシャント手術を受けられた患者さん。
意義・目的	ぶどう膜炎続発緑内障に対するチューブシャント手術については、現在他の緑内障手術と成績は同等ということが明らかになっていますが、角膜内皮への影響はまだ解明されていません。今回、ぶどう膜炎続発緑内障にチューブシャント手術をした場合の角膜内皮の減少率を確認するため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は視力、眼圧、病型、年齢、角膜内皮数、視野、使用点眼数、前房フレア値です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし（本学のみでの研究ため外部への情報提供はありません）
利用または提供を開始する予定日：本学における実施許可日（2022年6月23日）	
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間 泰一郎
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-5247</p> <p>広島大学病院 眼科 職名 医師 小松 香織</p>